

エコアクション21 環境経営レポート

2022 年度
(2022 年 2 月～2023 年 1 月)



2023 年 4 月 26 日
西光建設 株式会社

目 次

I. 取組の対象組織・活動	・ ・ ・ ・ ・ P1
II. 実施体制	・ ・ ・ ・ ・ P2
III. 経営理念・環境経営方針	・ ・ ・ ・ ・ P3
IV. 環境経営目標	・ ・ ・ ・ ・ P4
V. 環境経営活動計画	・ ・ ・ ・ ・ P5～6
VI. 環境経営目標の達成状況と環境経営活動計画の実施状況、その評価 結果及び次年度の取組内容	・ ・ ・ ・ ・ P7～12
VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、 訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ ・ P13
VIII. 代表者による全体評価と見直しの結果	・ ・ ・ ・ ・ P13
IX. 環境取り組み事例	・ ・ ・ ・ ・ P14
X. その他の取組	・ ・ ・ ・ ・ P15

I. 取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

西光建設 株式会社
代表取締役 高丘 利勝

(2) 本社所在地

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出6丁目2番18号

(3) 関連事業所

資材置場 福岡県福岡市博多区吉塚7丁目316番

(4) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部長 瀧下 均
担当者 総務部 塚本 健史
TEL : 092-621-3132
FAX : 092-611-5857
E-mail : tsukamoto.k@saikou3150.com

(5) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、水道施設工事業

(6) 事業の規模

事業年度 6月～翌年5月

区 分	平成31年度	令和2年度	令和3年度
売上高 (百万円)	4,770	3,749	3,926
従業員 (名)	89	90	91
本社敷地面積 (㎡)	3,467	3,467	3,467
資材置場敷地面積 (㎡)	3,819	3,819	3,819

(7) エコアクション21活動年度

2月～翌年1月

2. 認証・登録の対象組織・活動

(1) 対象組織

本社、資材置場

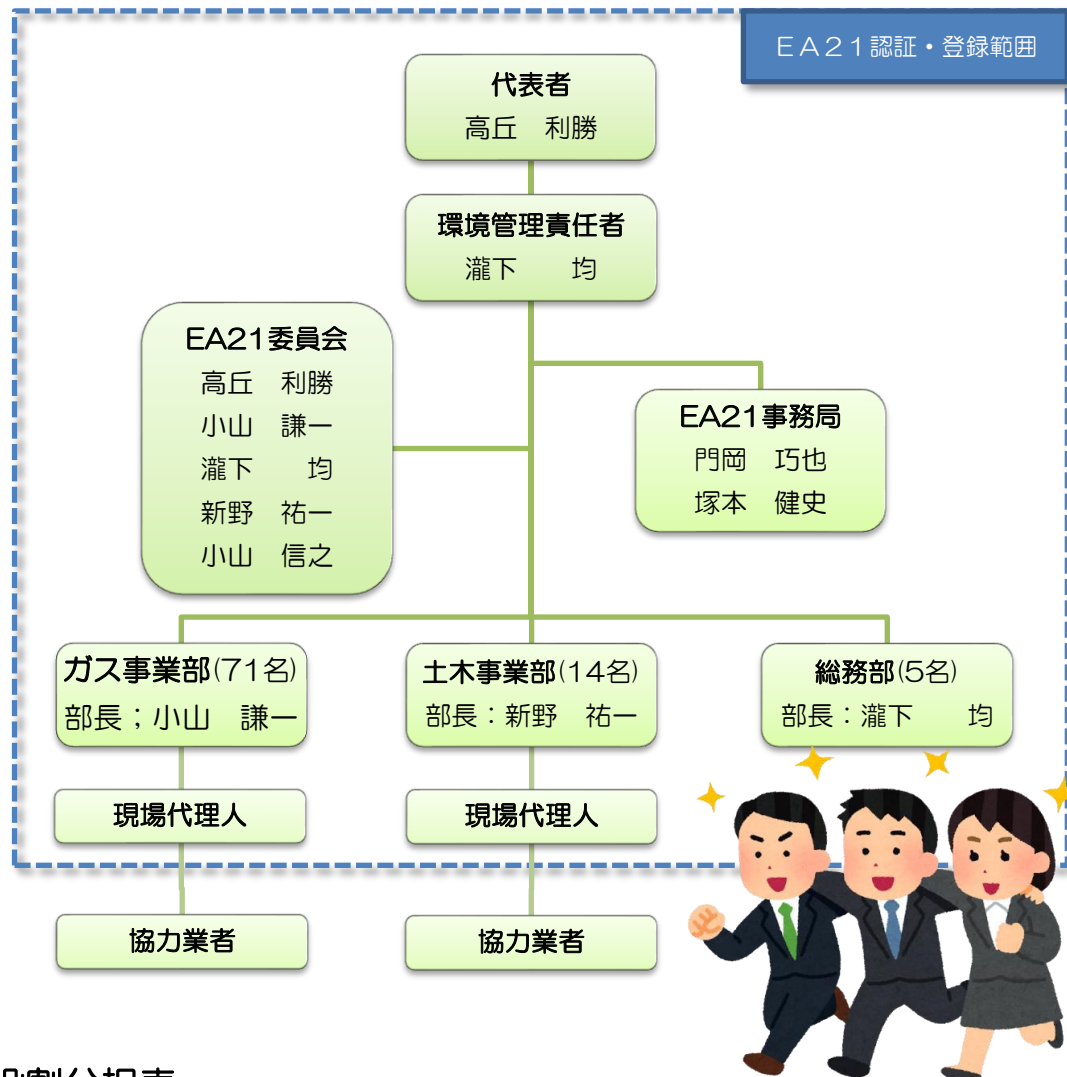
(2) 対象活動

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、水道施設工事業



Ⅱ. 実施体制

- ・当社のエコアクション21実施体制は、以下の通りです。



役割分担表

	役割・責任・権限
代表者	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し、経営における課題とチャンスの整理と明確化、環境管理責任者・EA21委員会・EA21事務局の選任。
環境管理責任者	環境経営システムを構築し、運用し、その状況を代表者に報告する。
EA21委員会	3ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する。また、問題点が発生した場合は、必要な是正処置を検討する。
EA21事務局	環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録書類の作成、維持、管理を行う。
部長・次長	環境方針、自部の環境目標・環境活動計画を部全員に周知し、取組状況を環境管理責任者に報告する。
現場代理人	環境方針、自部の環境目標・環境活動計画を現場従業員、協力業者に周知・指示し、現場での環境活動の状況を部長に報告する。
全従業員	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

Ⅲ. 経営理念・環境経営方針

経営理念

私たちは
日々の仕事に「感謝」し
一人ひとりが「安全と品質の確保」に努め
すべてのお客様に「安心と信頼」を提供し
全てのお客様に選ばれる会社を目指します。

環境経営方針

1. 事業活動における環境関連の法規・条例及び環境に配慮した工事基準を遵守します。
2. 事業活動における環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に継続的改善を行い、重点的に取り組みます。
 - ① CO₂排出量の削減
 - ② 省資源と廃棄物の発生抑制
 - ③ 水資源使用量の削減
 - ④ グリーン購入の推進、循環型社会の形成への貢献、
 - ⑤ 本業である建設工事施工における現場周辺地域での環境保全活動
3. この方針を全社員に周知徹底し、自主的・積極的に環境保全に取り組む意思の向上に努めます。

制定日：平成22年9月14日

改定日：平成31年4月18日

西光建設 株式会社

代表取締役社長 高丘 利勝

Ⅳ. 環境経営目標

・当社の環境経営目標は、大きく「本社及びガス事業部 現場」と「土木事業部 現場」に事業区分して、各サイト別に単年度及び中長期の数値目標を以下の通り設定した。

環境経営目標			サイト	単位	基準値	中長期目標		
					2019 年度 (2019 年 2 月 ～2020 年 1 月)	2020 年度 (2020 年 2 月～ 2021 年 1 月)	2021 年度 (2021 年 2 月～ 2022 年 1 月)	2022 年度 (2022 年 2 月 ～2023 年 1 月)
本社＋ガス事業部 現場	1	二酸化炭素排出量の削減	本社 ＋ ガス事業部現場	kg-CO ₂	241,200	241,200 以下	241,200 以下	240,200 以下 (△1,000)
	2	廃棄物排出量の削減	本社 ＋ ガス事業部現場	t	14,931	14,931 以下	14,931 以下	14,931 以下
	3	水使用量の削減	本社	m ³	2,106	2,106 以下	2,106 以下	2,106 以下
	4	グリーン購入の推進	本社 ＋ ガス事業部現場	品目	11	11	11	11
	5	工事現場での清掃活動の実施	ガス事業部現場	件 (清掃に関する苦情件数)	0	0	0	0
土木事業部 現場	1	二酸化炭素排出量の削減	土木事業部現場	kg-CO ₂	7,373	7,373 以下	7,373 以下	7,273 以下 (△100)
	2	廃棄物 排出量 の削減	①可燃ごみの 削減	土木事業部現場	kg	176	176 以下	176 以下
			②廃棄物量の リサイクル率 90%以上	土木事業部現場	%	98.05	90 以上	90 以上
	3	水使用量の削減	土木事業部現場	m ³	150	150 以下	150 以下	150 以下
	4	グリーン購入の推進	土木事業部現場	品目	11	11	11	11
	5	工事現場での清掃活動の実施	土木事業部現場	件 (清掃に関する苦情件数)	0	0	0	0

単年度目標

備考

※「本社＋ガス事業部 現場 1.二酸化炭素排出量の削減」の 2022 年度目標は△1,000 kg-CO₂ を目標値とした。

※「土木事業部 現場 1.二酸化炭素排出量の削減」の 2022 年度目標は△100 kg-CO₂ を目標値とした。

※その他目標値は現状維持を目標としているため基準値以下を目標値とした。

※電気の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の平成 30 年度調整後排出係数(0.347kg-CO₂/kWh)を使用した。

※化学物質は使用していないので、目標から除外した。

※ガス事業部（現場）に関しては、可燃ゴミなどの廃棄物は本社に持ち帰り処理しており、周辺地域への環境負荷が低く、ガソリン・軽油は本社と同じ給油所にて給油しているため、本社事務所と管理し、その区分が難しいことから、本社と併せて示した。

V. 環境経営活動計画

・当社の環境経営活動計画は以下の通りです。

<本社+ガス事業部 現場>

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	電気使用量の削減	本社	新野	1 不要な照明をこまめに消灯する	塚本
				2 不要な場合はテレビ・パソコンを消す	
2	ガソリン・軽油使用量の削減	本社 + ガス事業部 現場	筑本	1 急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	中村 雅
				2 アイドリングストップ手順を決め、実行する	
3	都市ガス使用量の削減	本社	瀧下	1 不要な空調を消す	田崎
				2 空調の温度設定を冷房26℃暖房22℃とし、実行する	
				3 不要時のガスコンロの消火	
4	省エネルギー機器の活用	本社	小山 信	1 エネファームの活用	塚本

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	可燃ごみの削減	本社 + ガス事業部 現場	小山 謙	1 ミスコピーの削減	小野
				2 コピー裏紙の再利用	
			瀧下	3 ムダな郵便物を受け取らない	塚本
				4 ごみ分別の徹底	
2	ガス工事の廃棄物量削減	ガス事業部 現場	筑本	1 ガス管廃棄量の把握	塚本

3. 水使用量の削減

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	節水活動	本社	小山 信	1 節水活動ポスターの掲示	塚本
				2 自家用車洗車の有料制	
				3 元栓を絞る	
				4 自動水洗の使用	

4. グリーン購入の推進（11品目）

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	グリーン購入の推進	本社 + ガス事業部 現場	瀧下	1 詰め替え用ペンの購入・使用	中村 雅
				2 充電式電池の購入・使用	
				3 再生骨材の購入・使用	
				4 環境配慮型冷蔵庫の購入・使用	
				5 環境配慮型消火器の購入・使用	
				6 ハイブリット車の購入・使用	
				7 環境配慮型パソコンの購入・使用	
				8 リサイクル軍手の購入・使用	
				9 環境配慮型複合機の購入・使用	
				10 環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	
				11 FSC認証制度対応の名刺の購入・使用	

5. 工事現場での清掃活動の実施（清掃に関する苦情件数0件）

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	工事現場での清掃活動の実施	ガス事業部 現場	筑本	1 工事後の散水清掃の徹底	門岡

備考※ガス事業部（現場）に関しては、可燃ゴミなどの廃棄物は本社に持ち帰り処理しており周辺地域への環境負荷が低く、ガソリン・軽油は本社と同じ給油所にて給油し管理しているため、本社と併せて示した。

< 土木事業部 現場 >

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	電気使用量の削減	土木事業部 現場	新野	1 不要な照明をこまめに消灯する	所長
				2 不要な場合はテレビ・パソコンを消す	
				3 不要な空調を消す	
				4 空調の温度設定を冷房26℃暖房22℃とし、実行する	
2	ガソリン・軽油使用量の削減	土木事業部 現場	新野	1 急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	主任
				2 アイドリングストップ手順を決め、実行する	
3	灯油使用量の削減	土木事業部 現場	新野	1 不要時のストーブを消火	主任
				2 暖房時の窓、ドアの開けっぱなしをなくす	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	可燃ごみの削減	土木事業部 現場	新野	1 ミスコピーの削減	所長
				2 コピー裏紙の再利用	
2	産業廃棄物リサイクル率90%以上	土木事業部 現場	新野	1 産業廃棄物のリサイクル	主任

3. 水使用量の削減

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	節水活動	土木事業部 現場	新野	1 節水活動ポスターの掲示	所長
				2 漏水検査を行う	
				3 元栓を絞る	

4. グリーン購入の推進（11品目）

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	グリーン購入の推進	土木事業部 現場	新野	1 詰め替え用ペンの購入・使用	主任
				2 充電式電池の購入・使用	
				3 再生骨材の購入・使用	
				4 針なしホッチキスの購入・使用	
				5 環境配慮型消火器の使用	
				6 環境に配慮したトイレトペーパーの購入・使用	
				7 環境に配慮したヘルメットの購入・使用	
				8 リサイクル軍手の購入・使用	
				9 環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	
				10 環境配慮型パソコンの購入・使用	
				11 FSC認証制度対応の名刺の購入・使用	

5. 工事現場での清掃活動の実施（清掃に関する苦情件数0件）

取組目標		サイト	責任者	活動項目	担当者
1	工事現場での清掃活動の実施	土木事業部 現場	新野	1 週に一回の現場事務所付近道路の清掃活動	主任
				2 現場の散水清掃の徹底	

Ⅵ. 環境経営目標の達成状況と環境経営活動計画の実施状況、その評価 結果及び次年度の取組内容

- ・2022 年度における環境経営目標の達成状況と環境経営活動計画の実施状況は以下の通りであった。

＜本社＋ガス事業部 現場＞

- ・本社＋ガス事業部現場については、環境経営目標はすべて目標達成できた。取組目標では電気使用量、都市ガス使用量、の削減が目標未達成であった。目標未達成の原因として新型コロナ対策の取組が影響した。
- ・次に環境経営活動の実施状況に関して、新型コロナ対策で換気をこまめに行ったため室内温度が保たれなかったことから空調温度設定を一時的に緩和したため判定不可とした。

【達成・実施状況の判定 ○：達成できている ×：達成できていない ー：判定できない、該当しない】

1. 二酸化炭素排出量の削減

1.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	240,200	212,769	○	二酸化炭素排出量は年間目標達成。ガソリン、軽油使用量は目標を達成できたが、電気、都市ガス使用量の目標達成ならず。都市ガス使用量目標未達の原因は換気による空調温度設定を緩和したことで使用量が増えたためである。次年度に向けて近年の状況に合わせた目標値を見直す。
取組目標	電気使用量の削減	kWh	68,885	77,237	×	
	ガソリン使用量の削減	L	39,935	30,870	○	
	軽油使用量の削減	L	34,629	18,450	○	
	都市ガス使用量の削減	Nm ³	15,784	22,765	×	

1.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
電気使用量削減	不要な照明をこまめに消灯する	○	コロナ対策で定期的に換気をしているため、エアコン設定温度を緩和したことから空調温度設定の取り組みを判定不可とした。その他は順調に取り組んでいた。今後も継続していく。
	不要な場合はテレビ・パソコンを消す	○	
ガソリン・軽油 使用量削減	急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	○	
	アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	
都市ガス 使用量削減	不要な空調を消す	○	
	空調の温度設定を冷房 26℃暖房 22℃とし、実行する	ー	
	不要時のガスコンロの消火	○	
省エネルギー機器の活用	エネファームの活用	○	

2. 廃棄物排出量の削減

2.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標		単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	廃棄物排出量の削減	t	14,931	14,199	○	全ての目標達成。次期も取り組みを進めつつ目標達成を目指す。
取組目標	可燃ごみの削減	t	14.3	13.2	○	
	ガス工事の廃棄物量削減	t	12.8	11.6	○	

2.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標		活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
可燃ごみの削減	ミスコピーの削減		○	年間を通し順調に取り組めた。このまま継続していきたい。
	コピー裏紙の再利用		○	
	ムダな郵便物を受け取らない		○	
	ごみ分別の徹底		○	
ガス工事の廃棄物量削減	ガス管廃棄量の把握		○	

3. 水使用量の削減

3.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標		単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	水使用量の削減	m ³	2,106	1,836	○	目標達成。今後も継続していきたい。

3.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標		活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
節水活動	節水活動ポスターの掲示		○	順調に実施されていた。今後も継続していきたい。
	自家用車洗車の有料制		○	
	元栓を絞る		○	
	自動水洗の使用		○	

4. グリーン購入の推進

4.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	グリーン購入の推進	11(品目)	11	○	順調に使用していた。今後も継続して使用していく。

4.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
グリーン購入の推進	詰め替え用ペンの購入・使用	○	年間を通し順調に使用していた。今後も使用を継続していく。
	充電式電池の購入・使用	○	
	再生骨材の購入・使用	○	
	環境配慮型冷蔵庫の購入・使用	○	
	環境配慮型消火器の購入・使用	○	
	ハイブリット車の購入・使用	○	
	環境配慮型パソコンの購入・使用	○	
	リサイクル軍手の購入・使用	○	
	環境配慮型複合機の購入・使用	○	
	環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	○	
	FSC 認証制度対応の名刺の購入・使用	○	

5. 工事現場での清掃活動の実施（ガス事業部 現場）

5.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	工事現場での清掃活動の実施	清掃に関する苦情件数 0(件)	0	○	目標達成。次年度も継続したい。

5.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
工事現場の清掃活動の実施	工事現場の散水清掃の徹底	○	年間通じて順調に取り組んでいた。今後も継続していきたい。

※ガス事業部（現場）の1～4項目に関しては、可燃ゴミなどの廃棄物は事務所に持ち帰り処理しており、ガソリン・軽油についても本社と同じ給油所にて給油し管理しているため、本社とは区分せずに現場独自の環境活動計画を設定しない。

＜土木事業部 現場＞

- 土木事業部現場については、環境経営目標では二酸化炭素排出量、水使用量の削減が目標未達成。他の4項目は達成出来た。取組目標としてはガソリン・軽油使用量の削減が目標未達成。原因は水を多く使う現場であったため水使用量が多かったことと通勤に社用車を使用したため燃料使用量が多かったこと。
- 環境経営活動計画はしっかり取り組めており、今後も継続して取り組む。

【達成・実施状況の判定 ○：達成できている ×：達成できていない －：判定できない、該当しない】

1. 二酸化炭素排出量の削減

1.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	7,273	9,924	×	年間でみると二酸化炭素排出量削減、ガソリン・軽油使用量削減が目標未達成。電気使用量削減は目標達成。通勤に社用車を使用したため燃料使用量が多かった。次期は様子を見る。
取組目標	電気使用量の削減	kWh	12,660	10,921	○	
	ガソリン・軽油使用量の削減	L	1,179	2,018	×	
	灯油使用量の削減	L	88	－	－	

1.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
電気使用量削減	不要な照明をこまめに消灯する	○	年間を通じて順調に取り組めた。このまま継続していきたい。
	不要な場合はテレビ・パソコンを消す	○	
	不要な空調を消す	○	
	空調の温度設定を冷房 26℃暖房 22℃とし、実行する	○	
ガソリン・軽油使用量削減	急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	○	
	アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	
灯油使用量削減	不要時のストーブを消火	○	
	暖房時の窓、ドアの開けっぱなしをなくす	○	

2. 廃棄物排出量の削減

2.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	①可燃ごみの削減	kg	176	36	○	目標達成。次期も継続したい。
	②産業廃棄物のリサイクル率90%以上	%	リサイクル率90%以上	100%	○	

2.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
可燃ごみの削減	ミスコピーの削減	○	年間を通し順調に取り組めた。このまま取組を継続していきたい。
	コピー裏紙の再利用	○	
産業廃棄物のリサイクル率90%以上	産業廃棄物のリサイクル	○	

3. 水使用量の削減

3.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	水使用量の削減	m ³	150	177	×	目標未達成。現場の状況で使用量も大きく変わるため、目標達成は難しいが、次年度は節水活動を続けつつ取り組んでいく。

3.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
節水活動	節水活動ポスターの掲示	○	年間を通し順調に取り組めた。このまま取組を継続していきたい。
	漏水検査を行う	○	
	元栓を絞る	○	

4. グリーン購入の推進

4.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	グリーン購入の推進	11(品目)	11	○	順調に使用していた。今後も継続して使用していく。

4.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
グリーン購入の推進	詰め替え用ペンの購入・使用	○	年間を通し順調に使用していた。今後も使用を継続していく。
	充電式電池の購入・使用	○	
	再生骨材の購入・使用	○	
	針なしホッチキスの購入・使用	○	
	環境配慮型消火器の使用	○	
	環境に配慮したトイレットペーパーの購入・使用	○	
	環境に配慮したヘルメットの購入・使用	○	
	リサイクル軍手の購入・使用	○	
	環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	○	
	環境配慮型パソコンの購入・使用	○	
	FSC 認証制度対応の名刺の購入・使用	○	

5. 工事現場の清掃活動の実施

5.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	工事現場の清掃活動の実施	清掃に関する苦情件数 0(件)	0	○	順調に取り組めた。今後も取組を続けたい。

5.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
工事現場での清掃活動の実施	週に一回の事業所付近清掃活動の実施	○	欠かさずに取り組んでいた。今後も取組を続けたい。
	現場の散水清掃の徹底	○	

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

- ・ 当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。
- ・ 3月に下記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規制等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃掃法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、がれき類）
騒音規制法	指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事
振動規制法	指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事
消防法	火災の予防、危険物の貯蔵
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検

Ⅷ. 代表者による全体評価と見直しの結果

＜今年度の取組評価＞

- ・ 環境目標の達成状況は、2事業区分を合わせると全11項目中2項目で目標が達成できなかった。サイト別でみると、本社+ガス事業部現場では5項目すべて目標達成できた。土木事業部現場では6項目中2項目（二酸化炭素排出量の削減、水使用量削減）で目標達成できなかったが、残り4項目は目標達成できた。
- ・ 活動項目の実施状況は、2事業区分を合わせると全54項目中1項目（「空調の温度設定を冷房26℃暖房22℃とし、実行」を換気の頻度増加による空調温度設定の緩和により）を判定不可としたが、他の項目を概ね良く取り組んでいた。

＜次年度に向けて＞

- ・ 今後も引き続き新入社員にはエコアクション21の研修を実施し、しっかりと教育していく。
- ・ 休日の日直、宿直など見えない所での気の緩みがないよう定期的に取り組む注意喚起していく。
- ・ コロナ禍の中での目標達成のために現状に合った取組に変えていく必要がある。

IX. 環境取り組み事例

- 環境社会検定試験（eco 検定） 現在取得者 18 名
主催者：東京商工会議所

- 一人一花運動 スポンサー花壇登録 協賛企業。
主催者：福岡市



博多駅博多口 西日本シティ銀行前



西光建設 玄関入り口



会社周辺の美化運動（ゴミ拾い）



環境省から感謝状をいただきました
（エコアクション 21 の長年の取組）

X. その他の取組

〈子育て応援〉



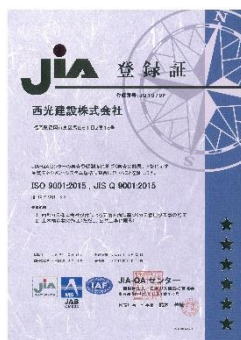
〈介護応援〉



〈健康経営〉



〈品質マネジメントシステム ISO9001〉



〈安全衛生マネジメントシステム コスモス〉

